

著名人の直筆ずらり

大崎市田尻蕪栗の農業、齋藤肇さん(41)が20年にわたって集めた文学者、政治家らの書、手紙、直筆原稿などのコレクション25点を展示する「オライの宝展」が同市古川福沼の吉野作造記念館で開かれている。

展示品のうち、種田山頭火の直筆
大崎の収集家所蔵25点

による「ふるさと」は遠くして木の芽」など俳句の短冊2点は、齋藤さんが21歳の時に仙台市の古美術店で見つけたものだ。作者の人生の中で、どのような意味を持つ作品なのか、交友関係はどうだったかななどを調べ、さらに掘り下げるために新たな品を探すという収集の道に入るき

山頭火の短冊2点も

っかけになった品という。明治政府の指導者だった山県有朋の揮毫や、歌人の齋藤茂吉、作家の武者小路実篤らのはがきは、農業を継いだ後、東京・神田の古書店やインターネットオークションなどを通じて収集した。

吉野作造記念館で展示

齋藤さんは「楽しみでもあるが、公の役に立つものとして集めている。地元財産として将来は博物館などに寄託したい」と話している。展示は2月28日まで(月曜休館)。入場無料。問い合わせは吉野作造記念館☎0229・23・7100。

【山田研】



齋藤肇さんが収集した種田山頭火の俳句の短冊—大崎市の吉野作造記念館で